

# 県歌「信濃の国」制定50周年

「信濃の国」が県の歌である県歌に決まってから、今年でちょうど50年！今回は五番です。

長野県の偉人を紹介しています。義仲は、平安時代の武将で、木曾で育った人物です。他の人物も、どんな人が調べてみましょう。



松代の象山神社前の佐久間象山像

## 〈五番〉

旭将軍義仲も

仁科の五郎信盛も

春台太宰先生も

象山佐久間先生も

皆此国の人にして  
文武の誉たぐいなく  
山と聳えて世に仰ぎ  
川と流れて名は尽ず

## 〈意味〉

旭将軍とよばれた木曾義仲も、仁科五郎信盛も、

太宰春台先生も、佐久間象山先生も、

みんな長野県にゆかりのある人で、学問、武芸にとでもすぐれていました。

その偉人の名譽は山のように高く、世の中の人が見上げています。川の流れるように、その名声は永遠に忘れられることはないでしょう。

「信濃の国」について新聞にまとめてみた友達もいます。親しんでくれて、とてもうれしいです。次回は、最後の六番の意味を紹介します。

作成…長野県教育委員会 教学指導課・企画振興部 広報県民課



\* 学年だより等でこのまま紹介することも可能です。